

大腸がん肺転移に対する根治を目指した肺転移切除術の評価方法の検討

1. 研究の対象

1990年1月～2008年12月に根治目的で行われた転移性肺腫瘍に対する切除例

2. 研究目的・方法

転移性肺腫瘍に対する肺切除術は標準治療の一つとして行われている。その治療成績は全生存（5年生存率など）で示されることがほとんどである。肺転移に対する肺切除術は基本的に根治を目指して行われるものであり、根治が得られなくても全身化学療法にて長期生存が得られる場合もあり、手術の有効性を示すにはよりよい指標が必要である。今回根治不能な再発までの生存（Time to incurable recurrence）という指標が大腸癌肺転移切除例において有効か否かを転移性肺腫瘍研究会データベースをもちいて検証するという目的で本研究を計画した。本校の患者データは匿名化されて栃木県立がんセンターに送られ解析される。

研究実施期間：2018年10月～2019年12月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、原発巣の種類、病期、治療内容、肺転移病巣の個数、サイズや部位などの情報、肺転移に対する術式、併用された治療、合併症、再発時の状態等、再発に対する治療、最終的な再発の有無、生死の情報

試料：なし

4. 外部への試料・情報の提供

栃木県立がんセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態でを行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

共同研究施設および共同研究者は下記のとおりである。

施設名	科名	情報管理責任者	実施責任者
がん研有明病院	呼吸器外科	中尾将之	文敏景
慶應義塾大学医学部	呼吸器外科	政井恭平	浅村尚生
東京都立駒込病院	外科	堀尾裕俊	堀尾裕俊
埼玉医科大学総合医療センター	外科	福田祐樹	中山光男
千葉県がんセンター	呼吸器外科	西井開	飯笹俊彦
千葉大学大学院医学研究院	呼吸器病態外科学	海竇大輔	吉野一郎
東京医科大学	呼吸器外科	大澤潤一郎	池田徳彦

東京大学医学部	呼吸器外科	中島 淳	中島 淳
栃木県立がんセンター	呼吸器外科	松隈治久	松隈治久
獨協医科大学	呼吸器外科	荒木 修	千田雅之
浜松医科大学	外科学第一講座	川瀬晃和	船井和仁
結核予防会 複十字病院	呼吸器外科	白石裕治	白石裕治
防衛医科大学校	呼吸器外科	橋本博史	橋本博史
杏林大学医学部	呼吸器・甲状腺外科	武井秀史	近藤晴彦
東邦大学医学部	外科学講座呼吸器外科学分野	佐野 厚	伊豫田明
国立病院機構 東京医療センター	呼吸器科	小山孝彦	小山孝彦
埼玉県立がんセンター	胸部外科	秋山博彦	秋山博彦
三思会 東名厚木病院	呼吸器外科	杉山茂樹	稲垣敬三
長岡中央総合病院	呼吸器外科	須田一晴	古屋敷 剛
山形県立中央病院	呼吸器外科	塩野知志	塩野知志
君津中央病院	呼吸器外科	飯田智彦	飯田智彦
日本海総合病院	呼吸器外科	金内直樹	金内直樹
大阪大学大学院医学系研究科	呼吸器外科	狩野孝	新谷康
愛知県がんセンター中央病院	呼吸器外科	黒田浩章	黒田浩章

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

橋本 博史

防衛医科大学校

外科 2 呼吸器外科

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

TEL 04-2995-1650 FAX 04-2996-5206

研究代表者：

松隈治久

資料 4

栃木県立がんセンター 呼吸器外科
〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南4-9-13
Tel: 028-658-5151 Fax: 028-658-5488